

目 次

I. 総括研究報告

早老症のエビデンス集積を通じて診療の質と患者QOLを向上する全国研究

代表研究者 横手 幸太郎

(資料1) 第63回日本老年医学会学術集会 プログラム

(資料2) 日本老年医学会雑誌「早老症研究の最前線」

(資料3) 朝倉書店 内科学 第12版

(資料4) Atherosclerosis and cardiovascular diseases in Progeroid syndrome

(資料5) 「生物の寿命と延長」早老症にみる細胞、個体の老化と寿命の延長

(資料6) Generation of disease-specific and CRISPR/Cas9-mediated gene-corrected iPS cells from a patient with adult progeria Werner syndrome.

(資料7) Calcification in Werner syndrome associated with lymphatic vessels aging.

(資料8) A high prevalence of myeloid malignancies in progeria with Werner syndrome is associated with p53 insufficiency.

II. 分担研究報告

1. ウェルナー症候群：診療の質および患者QOL向上を向上する全国研究

分担研究者 竹本 稔

分担研究者 葛谷 雅文

分担研究者 中神 啓徳

分担研究者 窪田 吉孝

分担研究者 茂木 精一郎

分担研究者 谷口 俊文

分担研究者 谷口 晃

分担研究者 忍足 俊幸

2. ハッチンソン・ギルフォード症候群の新規治療薬ロナファルニブの国内承認に向けた取り組み

分担研究者 井原 健二

分担研究者 松尾 宗明

分担研究者 小崎 里華

(資料1) HGPSに関するご質問

(資料2) 日本人治験参加者1

(資料3) 要望書 (IV-113：ロナファルニブ) 最終版

(資料4) 2021日本老年医学会HGPS

3. 10年間隔で実施したロスムンド・トムソン症候群全国調査の比較

分担研究者 金子 英雄

4. 研究成果の刊行に関する一覧表